

子どもが自走する「たくなる」教育へ：田代友愛小学校の新たな挑戦

教職員の意識変革：一方的な指導から「伴走」へ



教師の役割を 「伴走者」へと再定義

子ども自身で課題を発見し、
解決するプロセスを共に歩む
存在を目指す。

「チャレンジ前へ！」 の精神

クリティカルシンキングで
従来の「当たり前」を見直し、
変化を恐れず挑戦する。

「子どもを信じる」 という土台

子どもの思いや願いに応え、
自走できるように導くことが
教師の役割である。

実践の柱：子どもの「やりたくなる」を育む

子どもの 「たくなる」を 大切にする



子どもが興味を持ったこと
から学びに繋がれるよう
支援し、主体性を引き出す。

構造改革を 支える3つの柱


幼保小連携
重点的に進める。


授業の
構造改革
重点的に進める。


学校生活の
改善
重点的に進める。

非認知能力を 高める フィードバック



授業の振り返りを大切にし、
目に見えない子どもの成長を
教職員間で共有する。